

10 お世話になった人に挨拶をする



10 課では、帰国前に特にお世話になった人に挨拶をする方法について学びます。

例1 日本語の挨拶

1. 各コマについて

1コマ目	留学生が「どうも」という挨拶が使われる場面（おばあさんの荷物を持ってあげたとき）を考えている。
2コマ目	留学生が「すみません」という挨拶が使われる場面（電車の中で赤ちゃん連れの母親に席を譲ったとき）を考えている。
3コマ目	留学生が「お世話になりました」という挨拶が使われる場面（卒業式で恩師にお礼を述べる）を考えている。
4コマ目	帰国の日、アパートの大家さんに挨拶する際、何と云うのがいいかわからず、「ありがとう」「どうも」「すみません」「お世話になりました」と知っているかぎりのお礼の言葉を言ってみる留学生。

2. 話し合いのポイント

- 感謝の気持ちを相手に伝える、自分らしい挨拶のしかたについて学習者に考えてもらうことが1つ目のポイントです。その際、必ずしも日本人が言うとおり、するとおりではなくてもよいという視点が大切になると思います。
- そして、どんな要因によって挨拶表現が使い分けられているのか学習者に考えてもらうことが2つ目のポイントです。
- ここでは、特定の**日本語の挨拶の使い分けを教える授業にならないように注意が必要です。**

3. 話し合いを進めるときのコツ&発展させるなら……

- 学習者からは、この表現とこの表現の使い分けがわからないという質問が出てくると予測されます。その際、すぐに答えを与えるのではなく、使い分けの条件を学習者自身に考えてもらうようにする必要があります。
- 日本人との接触経験が少ない学習者の場合は、日本語の挨拶の例がすぐに思い浮かばないかもしれません。その場合、母語や得意な言語で使い分けがある挨拶表現を挙げてもらい、どんな場合にどの表現を使うかを紹介してもらおうといいでしょう。
- 学習者に日本語の似たような挨拶表現の使い分け方がわからず困った経験を挙げてもらおうといいでしょう。その後、どのような場面や状況ではどの表現を使うのか、学習者同士で話し合ってもらいましょう。

例2 先生に最後の挨拶

1. 各コマについて

1コマ目	最後の授業が終わり、学生が教師に「ありがとうございました」とお礼を述べている。
2コマ目	「先生はいい人です」と学生に言われて、やや恐縮する教師。
3コマ目	質問にいつも答えてくれて「先生は親切な人です」と学生に言われ、さらに恐縮する教師。
4コマ目	「先生は、教えるのが上手でしたね」と学生に言われ、素直に喜べない教師。

2. 話し合いのポイント

- ここでは他人を褒めるとき、褒めてもいいこと、褒めないほうがいいことには言語差や文化差がある点、そしてそこに関わる要因（例：目上の人かどうかなど）に気づいてもらうことが1つ目のポイントです。
- 何を褒めてもいいか、褒めないほうがいいかは言語や文化というカテゴリーで完全に類型化できるものではなく、個人差もあります。褒める相手によって喜んでもらえる褒め方を考えてもらうことが2つ目のポイントです。

3. 話し合いを進めるときのコツ&発展させるなら……

- まず、日本語では目上の人を褒めるときは注意が必要であることを共有します。その際、最初に4コマ目でなぜ教師が「なんか喜べないなあ…」と言っているのか、また、2コマ目、3コマ目で教師の表情や「そ、そうですか。」「そ、それほどでも……。」という言葉から読み取れる気後れにも気づいてもらうため、どうして教師はそのような反応をしているのか学習者に考えてもらうところから始めるといいでしょう。
- 学習者の文化では褒めに関する慣習があるか、それについて自分は普段どう行動しているか、どう思っているかを話し合ってもいいでしょう。
- 自分が褒められたらどうするかについて話し合ってみてもいいでしょう。
- また、発展活動として「褒め」だけではなく、「お詫び」「お礼」などの述べ方に関して、学習者の文化での慣習や、学習者個人が気をつけていることなどを話し合ってもいいと思います。

例3 挨拶の機会**1. 各コマについて**

1コマ目	留学生のアルバイトの最終出勤日。留学生はアルバイト先の人たちに退職の挨拶をしたいと思いつつ、同僚とはいつもと同じように挨拶をする。
2コマ目	留学生が仕事中に同僚に挨拶をしようとするが、タイミングを逃す。
3コマ目	アルバイトの終了後、同僚に退職の挨拶を切り出すが、同僚が急いでいて先に帰ってしまう。
4コマ目	後日、同僚は留学生が退職したことを他の同僚から聞き、ショックを受ける。

2. 話し合いのポイント

- 別れの挨拶の重要性について考えてもらうことがポイントです。
- 別れの挨拶をする際はタイミングも重要です。具体的には、バイトを辞める留学生が最終勤務日ではなく、もう少し前からバイトを辞めることを同僚に伝えておくことができれば、4コマ目のような事態は防ぐことができたということに気づけるといいでしょう。

3. 話し合いを進めるときのコツ&発展させるなら……

- まず、各コマで描かれている事態を学習者に説明してもらうなどして、起きている問題の確認をすることで始める必要があると思います。
- 話し合いでは、留学生はどうすればよかったかというところまで学習者に話し合ってもらい、様々な意見を出してもらうといいでしょう。
- 挨拶だけではなく、日本人に話しかけたり話をもちかけたりするタイミングが難しいと感じた経験があるか、それはどんなときだったか、話し合えるといいと思います。
- この留学生の行動のみが問題だという結論に至らないようにしましょう。例えば、この留学生が話しかけられなかった理由を考えてみるといいでしょう。常に忙しそうにしている日本人の同僚にアルバイトをやめる挨拶を切り出すにはどうしたらいいか、漫画の留学生と同じような経験をしたことがあるかなどを聞いて、学習者の困難点を教師側も把握するようにしたほうがいいでしょう。